

情 報 局 編 輯
六 月 廿 五 日 第 七 百 七 十 四 號

寫 眞
週 報



よ 嶺 山 男 の 職 場





新眼科薬

ルイマス



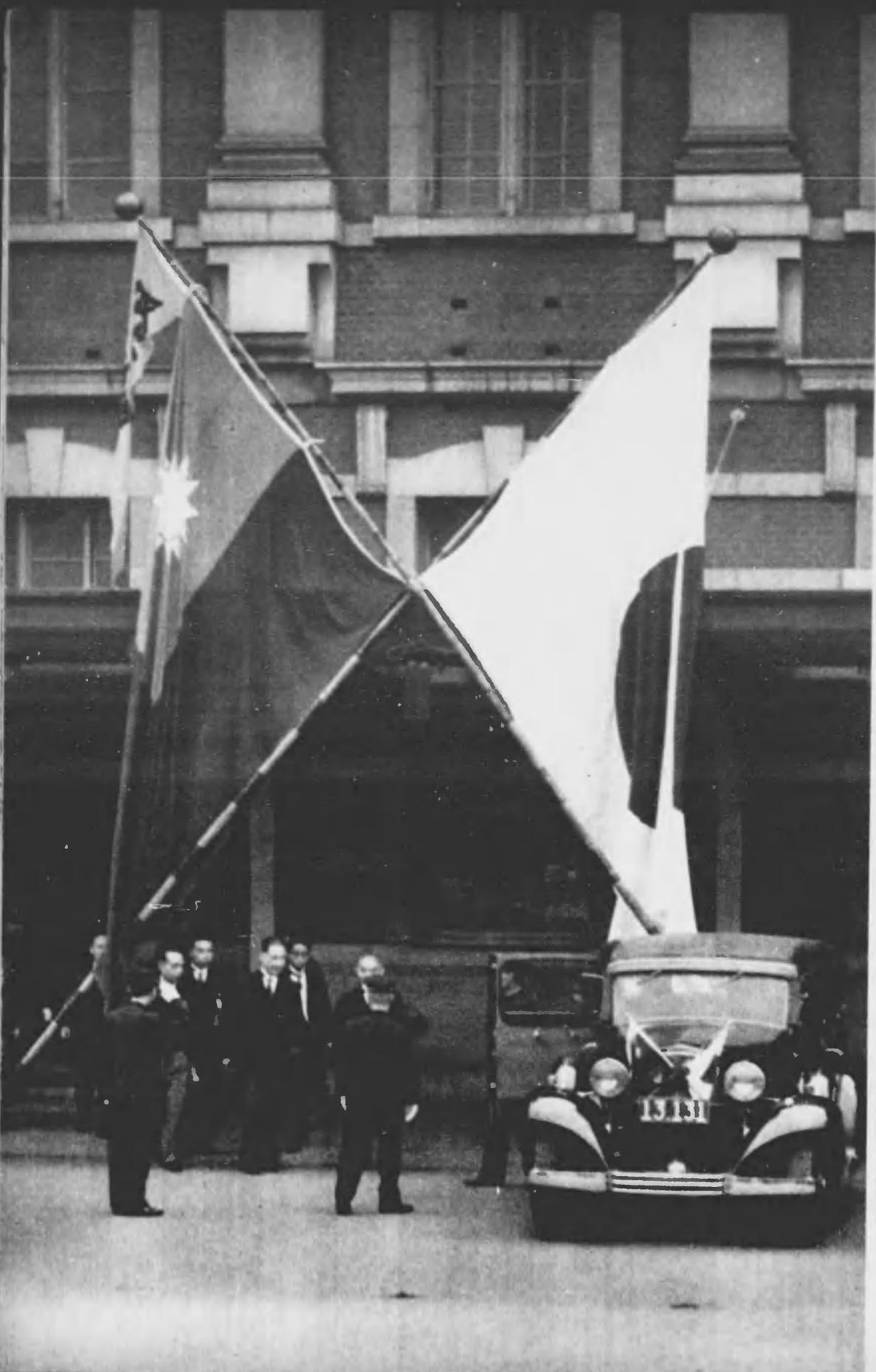
正し眼薬な持たなければならぬの作用……
即ち殺菌・消炎・鎮痛・収斂の各作用が優れての定
評のルイマスの評す細か仕事をす人る疲れの眼の防
に結膜炎・ムホラト・眼瞼炎・充血等眼疾の療と防
にこれら紫外線の防止に
(二錢五 四錢五)

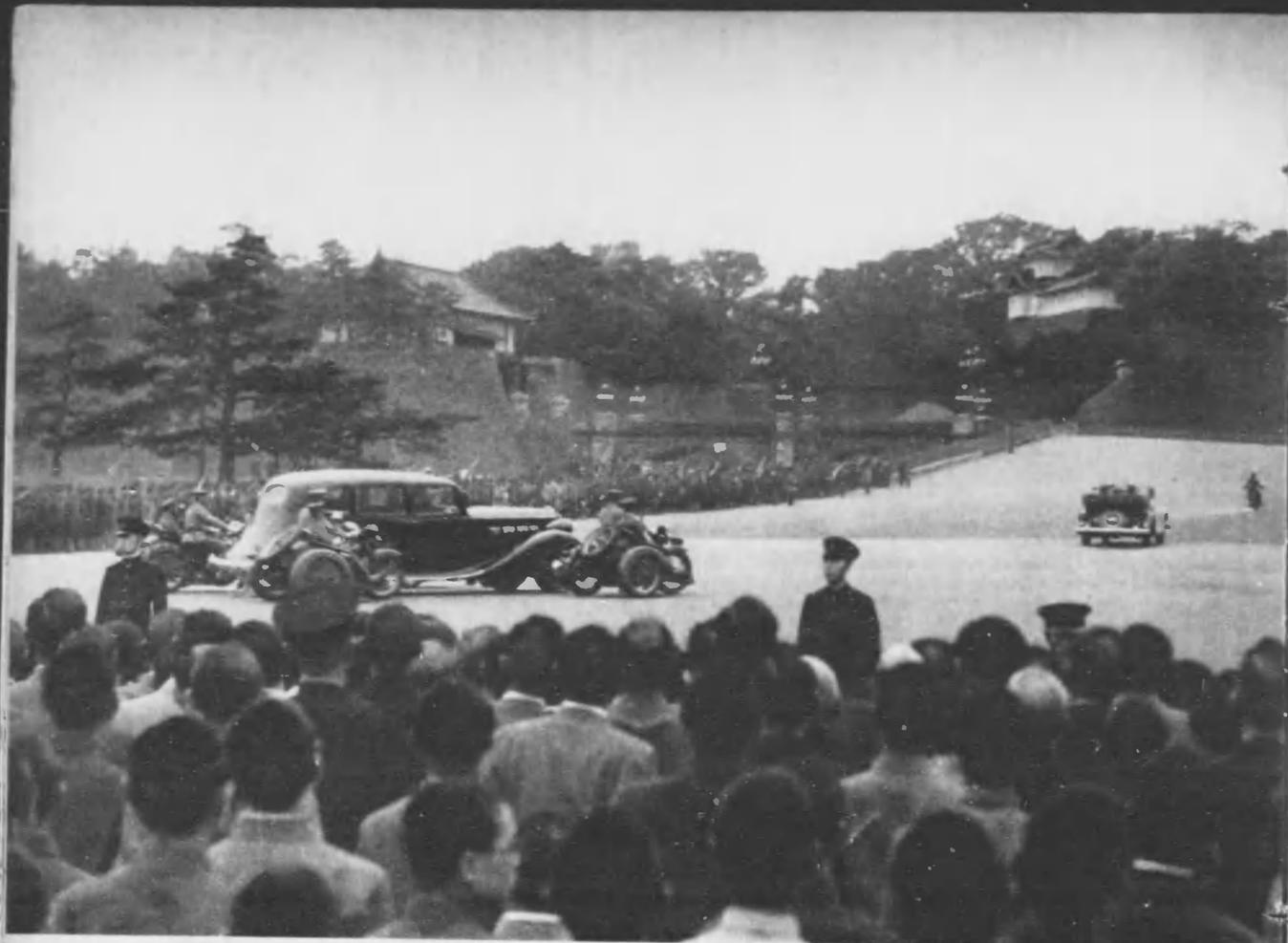
總代理店 株式會社 玉置商店

汪國民政府主席來訪

皇室の賓客をもつて遇せらる

東京正西支關に交又されたる日華兩國の大國族をくどり車上の人となつた汪主席は沿道の湧き上る歡呼にこたへつゝ中國大使館に向つた





歓迎の熱と熱をこめて沿道に限りなくつづく旗の波

訪来席主府政民國汪

るらせ遇てつもを客賓の室皇

中華民國國民政府汪精衛主席は隨員を從へて六月十四日八幡丸で上海を出帆、十六日神戸上陸、十七日朝、わが朝野の盛大な出迎へを受けて晴れの東京入りをしました

汪主席來訪の目的の一つには新中央政府成立以來日本が國を擧げての支援に對する答禮と、二つには行政院長の資格で激變する世界の情勢の下にあつて日華兩國が今後ますます協力してゆくについで日本の要路にある人たちと種々懇談をこ

げるためであります
天皇 皇后兩陛下には十八日長くも皇宮の賓客として汪主席と御會見御會食遊ばされました。かうした有難い思召しは必ずや日華兩國の親善をいよ／＼深めることとせうし、また汪主席の來訪を機會に兩國の種々な具體的提携は大いに増進されることと思はれますが、殊に日華兩國をめぐる敵性國家に與へる影響は極めて甚大なものがあります



十七日午前八時四十五分汪主席一行は近衛内閣總理大臣、松岡外務大臣以下各閣僚陸海軍將星その他軍官民代表多數の出迎へをうけて東京驛に到着した



十六日朝八幡丸が神戸港接岸につくや前駐華全權大使阿部備行人將は船内接見室で汪主席と會見、感激の握手を交した



行け！ 鉦山男の職場

坑道戦士に
なるまで

戦争に金属はつきものである。殊に近代戦のやうにあらゆる點で機械化されると戦争に缺くことのできないものは金属である。金属資源に乏しい國は、近代戦の惨敗者たねばならないといつても決して過言ではない。

わが國でも、一方支那事變を遂行し、他方將來の國際危機に備へるため金属資源の確保には萬全の策をとつてきたが、今は世界各國が戦時状態であるから、外國からの入手が容易でなくなると、何をいへども國內生産を豊富にする以外に方法がない。國內の地下資源を徹底的に開發し、生産を飛躍的に増加することが急務中の急務となつた。

幸ひ日本全國には相當多種多様の未開發地下資源が埋藏されてゐる。だが、これを掘るには澤山な人手が要る。「戦場にあるわれ」の子弟の生命は、われわれの腕にかかつてゐる」とかつてヒトラー總統は全國の鑛山の労働者に叫んだことがある。また今日でも鉦山生活が危険で有害であるといふのは甚しい誤解だ。全國の鑛山はあらゆる設備を整へて、前線の將兵に劣らない坑道戦士の活躍に備へてゐる。鑛若機こそ、鶴鳴こそ、國內戦線の新しい武器でなければならぬ！

五月一日から七月三十日まで「全國金屬増産運動期間」

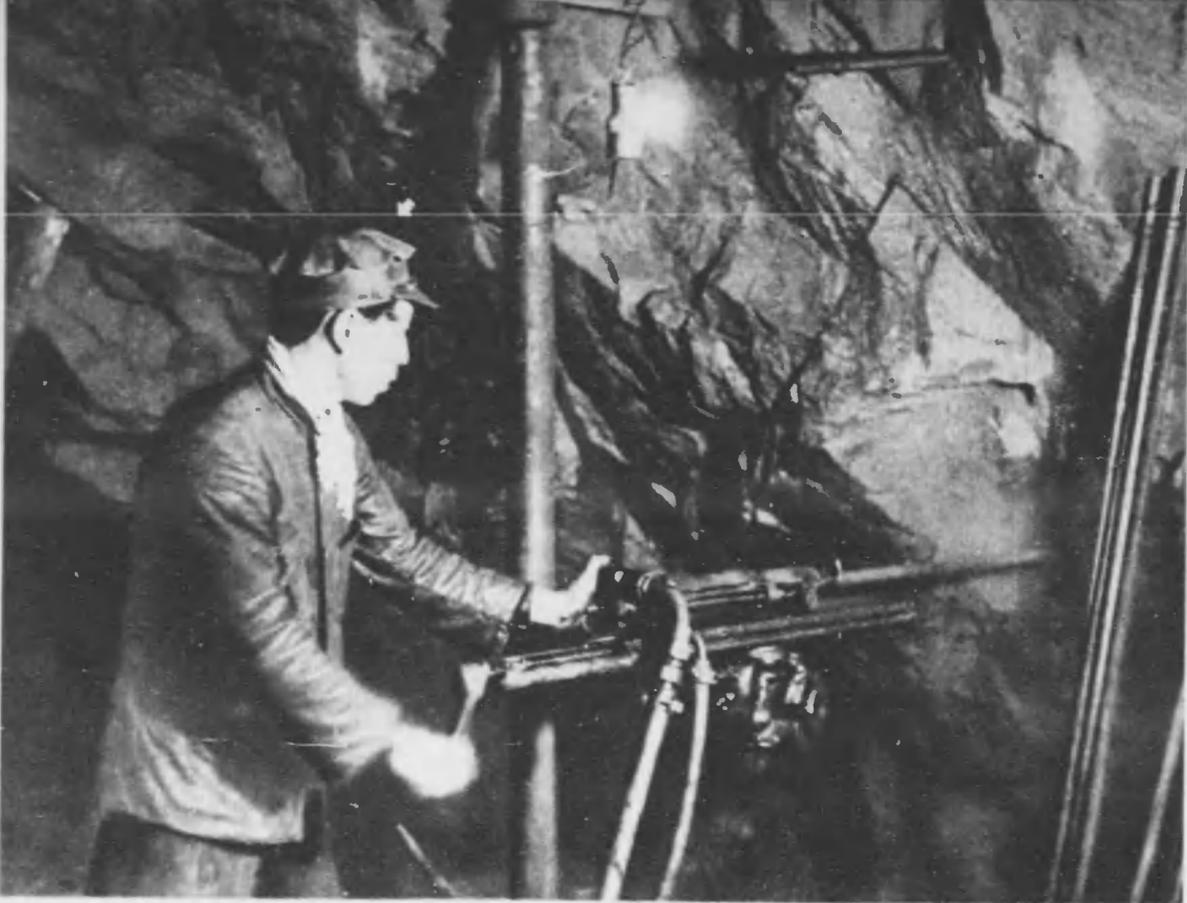
撮影 菊池豊三郎



指導所の紹介で鑛山事務所を訪れた木村君は早速就職を申込み、事務所では鑛山事務の完備した病院に木村君を送つて、精細な體格検査をした。



採擇と決つた木村君は、同僚と一緒に、事務所から一里山奥の鑛山に入つた。



今日から大噴れ坑道の戦士。鉄を鑛若機に持ち代へた木村君は第二坑の切羽（職場）で働くことになつた。



同じ切羽で働く同僚は扶けの扶けられつる戦友だ。戦場の懐しい職友愛がここで惜みなく再現されてゐる。食卓には打直いだ増産誓ひの華が咲く。



⇒ 釜山には太陽燈照射室が設けられておつて、非番の勞務者には無料で、矢はれがちな太陽の恵みを豊富に與へてゐる

⇒ 釜山の水泳部には朝自慢のプールがある。木村君も水泳部員の指導を受けて心身の鍛錬を怠らない

⇒ 作業は午前七時に始まるが、交替制なので早出の時は午後四時には仕事が終わる。雨の日は合宿の娯樂室で將棋をまじたり新聞を讀んだり楽しい時間を過ごす



木村君と釜山田舎の風景

⇒ 衣食住に金がかからないので、木村君は今度は貯蓄額面の賞達だ。一六分ふへたぞ。百三十五億にも多少の御役に立つな」と微笑む木村君



⇒ 釜山には物資供給所があつて日用品は全部通帳で購ふことができる。家族連れには食糧品の配給もある。木村君は地下タビを買つた

⇒ 釜山には萬一に備へて、完備した消防隊が組織されてゐる。なかでも救命隊には厳重な訓練をうけて入隊するのだが、陸軍上等兵の體格が物をいって木村君も選ばれて隊員となつた。狭い坑内での困難な作業に打ち勝つために、隊員の新しい訓練





行方不明山田少将

木村君にも仕事があり、
彼に付いた六月十一日、金光
厚生大臣は地下幾百メートル
の坑道で金剛地産に鉄と鋼
を産出するに成功するた
め、彼のある日立山を訪ね
てきたのである。
大臣は山につくとやがて
カーキ色の作業服にゴム靴、
ヘルメット型の安全帽といふ
いでたで地下二百五十メー
トルの第二本坑に降りた。
九、監岩の轟音、ダイナマ
イトの爆音の中をカンチの
光をたよりに切羽（切羽）に
迫りつくと、大臣は折から
鋼鉄の大網と取つ組んで
命に懸かる木村君他三人と
とらへ「健康はどうですか？」
「一人で一日何トン位掘り出
せますか？」などと質問、又
「皆さんが監岩で鋼鉄に向
はれるのは兵隊さんが機銃を
射つと同じです。どうか
こゝを監岩だと思つてしつ
かり掘つて下さい」と演説。
木村君は思はぬ光榮にすつ
かり感激、いよいよお國のた
めに監岩と戦はうと決心した

協同で立てよ生活の新體制

興亞奉公日は國民常會日

興亞奉公日もこの七月一日で、いまい
よ二十三日目を迎へることになった。
今度大政翼賛會國民生活動員本部で
は、是形事務の進み具合と國內の事情
とを照み合せて、興亞奉公日を一層意義
のあるものにしてゆくことになつた。意
義のあるものにするといふのは、現在の
國內の事情では、かうすればわれわれ
はさらに國のお役に立つことができ、
といふ考へを附け加へることである。そ
してこの考へを、日々の暮らしのいろ／＼
な方面に、必ず形に表はして實行するこ
といふことである。

考へや力を合せよう

第一にわれわれは生活を通じて、結
ばれ、考へや力を一つに合せて進んでゆ
かうといふことである。
いままでわれわれは、少い物を大切
にしてきた。貯蓄もしてきた。物もたく
さん作つてきた。しかし考へてみれば、
われわれ一人々々が少い物で暮らして
し、財布の裏をたいて貯蓄もし、汗を
流して物を作つてきた、が隣りはどう
か。もちろん隣りも同じやうにやつてき
た。當り前のことである。しかし考へて
みるといふのは、かういふバツ／＼なや

り方には限りがあるといふことである。
これから先なほ物が少くなり、貯蓄目標
が増加し、いつ他國から思はず難題を吹
つけられるかも知れない世の中では、
もつと一層準備をして一分の隙もない國
民衆を作つて置かなければならない。
これが現在のわれわれの立場である。
それには一人々々が思ひ／＼にやるよ
り、多勢の者が考へてつとめてつた方が
よいばかりでなく、皆んなが一緒になつ
て考へ決めたことは、皆んなが一緒にな
つて責任を一つにして行ふやうになる。
そこに達成もしやすいのである。また協
同の力でなければできないこともある。
これは工場でも國組の家庭生活でも同
じである。一徳一心といふのは、この事
つたりのことをいふので、この之を以て
心に同じ血を通はせ、堅く結ぶを協同し
て進んでゆくといふことは、いさ／＼大
切なことである。

第二はわれわれの昔ながら、無駄や理
窟に合はないことをよつ／＼なくさうと
いふことである。
物が少くなりしかも配給されるやうに
なつてから、われわれの昔は大部理窟
に合つて整つてきた。しかし一つの家
庭でその生活が合理的になつたとして

も、隣りではもつと合理的な暮らしをして
るかも知れないし、なほ一層よい考へ
を持つてゐるかも知れない。そこで隣
き合せて考へて進んでゆく協同一致し
て、一番い、最も方を全うする責任の下
に打ち建てる必要がある。そして決つた
ことは一、二回のその場限りのものでな
く、それを日々夜々の暮らしのしきたり
となしなくてはならない。これが新しい生
活の樹立である。
われわれの生活といふものは、いま直
接高度國防國家建設といふことに結び付
いてゐるといふのは、毎日の暮らしとい
へば直ちに物を消費することと考へる
が、現在に物を消費するだけの生活とい
ふものは許されない。物を作ること物を
使ふことは、一つの體でなされる二つの
働きであつて、このことを判然と自覚し
なければ、物は成長もしないし力もでな
い。即ち、毎日の暮らしをいかに合理化す
るかによつて高度國防國家が求めてゐる
生活への貢献が、職場にだけなく日
常生活からもすることができるとである。

一齊に常會を

大政翼賛會國民生活動員本部では、以
上のやうな考への下に興亞奉公日を新ら
しく意義づけ、まづ新しい試みとして
七月一日午後八時半からラジオを通じて
全國一齊に茶業会きふだん着で國民常會
を開き、その席上そのやうな項目に關して
それ／＼の中合せをし、それを國民生活
の根本問題の第一出發として、百々さま
實行に移すことになつてゐるのである。
その項目といふのは――

- (一) 日常生活上の新工夫、新発見など有益
なことは、常會の席上で互ひに發表し
それを常會の協同事項として速かに實行す
る。
 - (二) 生活は消費が目的でなく、生活を通し
て國力増進に參與するものであるとの故
極的觀念の下に、生活合理化の設計を國
家目的に合せた方面に集中し、例へば合
理化による生産と消費部分を協同調整し、
或は生産増進の事業によるなど、生活
即生産の具體化をはかる。
 - (三) 時間の配分、虚費の防止など、協同の力
によつてなされること、悪い習慣をこ
の際改めて中止せしめ、それを打破する。
 - (四) 共同献金、共同救済のやうに、生活の
集團化、協同化によつて、さらに合理的に節
約の方法を講ずると共に、各種の生産の合
理化をはかる。
 - (五) 健康の増進、精神の修養のために、生
活節制の活用をして、明日の活動力を養ふ
ための厚生運動を協同の力で行ふ。
 - (六) 食糧の増産は耕作農民諸君の力にのみ
頼るべきでなく、全國民が集つてこれに協
力すべきであるの考への下に、特に消費者
側において食糧生産者への感謝の念を表
明すると共に、國庫の利用、米穀の集積など
を行ふ。
 - (七) 婦人は民族の母、乳幼児は國の富
であること等を、出産前後の母性のふる
家庭への手傳へ、乳幼児を預るなど、母
性及び乳幼児の保護に努める。
- 大體以上のやうな事情について、それぞ
れの創意と工夫をもつて自分から進んで
新しい生活を楽しみ、それによつて國庫へ
の協力を行つてほしいのである。かうし
てこそ興亞奉公日は一徳國民によつてい
よいよ立派なものにされ、本會の非常
時を乗り切ることができると信じてゐる

大政翼賛會



撮影 大日本青少年團

働く喜び 溢る力

無の柄をしっかりと握りしめて
 よりあげた腕に溢れる力
 化粧のむなしさをよりすてた
 小麦色の頬にあふれる微笑
 遠く祖家の代からの深いつながりをもつて
 ここに高く風うつ日本の精神がある
 君達 土に生きるものいのちのたくましさ
 君達 土に生きるものいのちのたくましさ
 この激しい時代の嵐の中で
 黙々と脈をとる君達の肩の上に
 強く美しい日本の姿がある



君達のたくましい肉體が
 力一杯たがやした大地だ
 土を愛するやさしい心づかひが
 一握りの土にさへしみこんでゐる大地だ
 やがて實りの日がくるであらう
 やがて豊かな收穫の時がくるであらう
 土を愛する君達のいのちをひめて
 そこに約束された明日への希望がある
 實る大地へのとほろこびがある



臺灣統治七十四年

臺灣が皇國の版圖に歸して今年で四十七年目になります。六月十七日は臺灣總督府施政四十六周年の記念日でした。

まず、馬關條約以來この四十六年の間の臺灣の統治といふものには實に容易ならぬ困難がありました。何しろ領土當時の臺灣は連綿のため教化の及ばない支那のいはゆる「化外の地」でありましたから支那特有の匪賊は勿論山には生蕃人が蟻居してゐて治安といふものは殆んど見られなかつたのです。

ところがこの瘴癘、毒の地も一度皇化が潤ひ、官民苦心の經營がつけられるやうになつてからは、いろいろの文物制度は悉く整備して昔の面目を全く一新してしまひました。

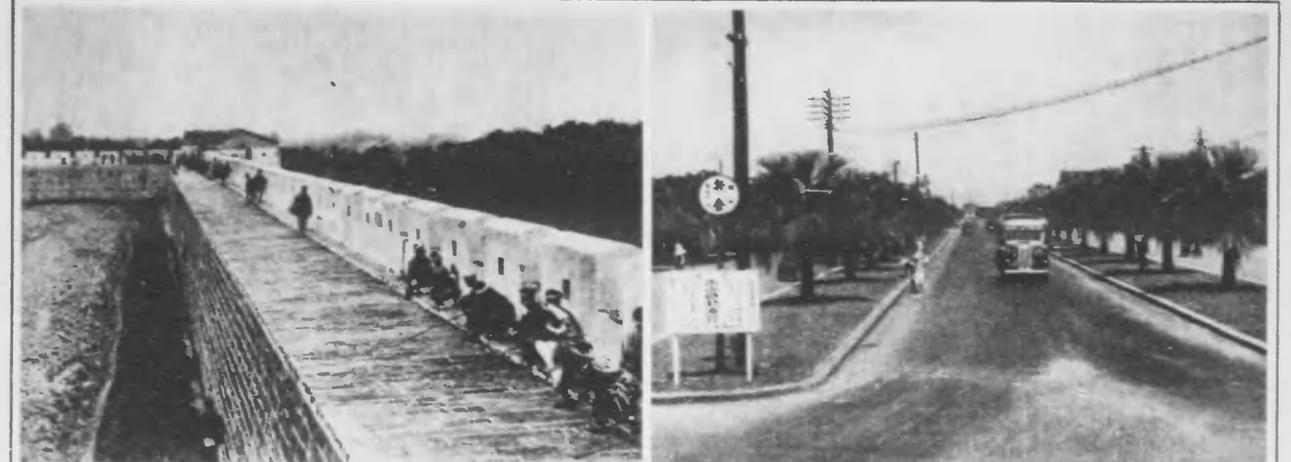
當時外國では「日本人に果して植民地を統治する能力があるたらうか」と疑つたといふことですが、それがどうでせう、

價値以來僅か五十年にも満たない今日、わが臺灣の統治は名實ともに世界植民史上類例のない成功を示してゐるのである。

いま四十七才の壯年臺灣は領土當時に比べて二百五十萬の人口は五百八十萬に、年額四千萬元といはれた生産額は十億圓に達する飛躍的な増加を示し、またそれと同時に文化教育の普及に伴つて内臺南民族はこの間にいよ／＼その融合を深め皇國民としての意識を鞏固にしてきたのでした。

施政四十六周年記念日の十七日、臺灣に映る臺灣の山色は丁度この希望と光明に溢れた臺灣の前途を象徴してゐるものやうに、一人明るく木島人一人一人の眼に輝かされたことであらう。

私共はいま、この榮かたれた基礎の上に立つてさらに輝く民衆國道の殿堂臺灣を建設してゆかなければならぬ使命を思ひ統治の歴史を回顧して大事業の完成を今後に期待しようではありませんか。



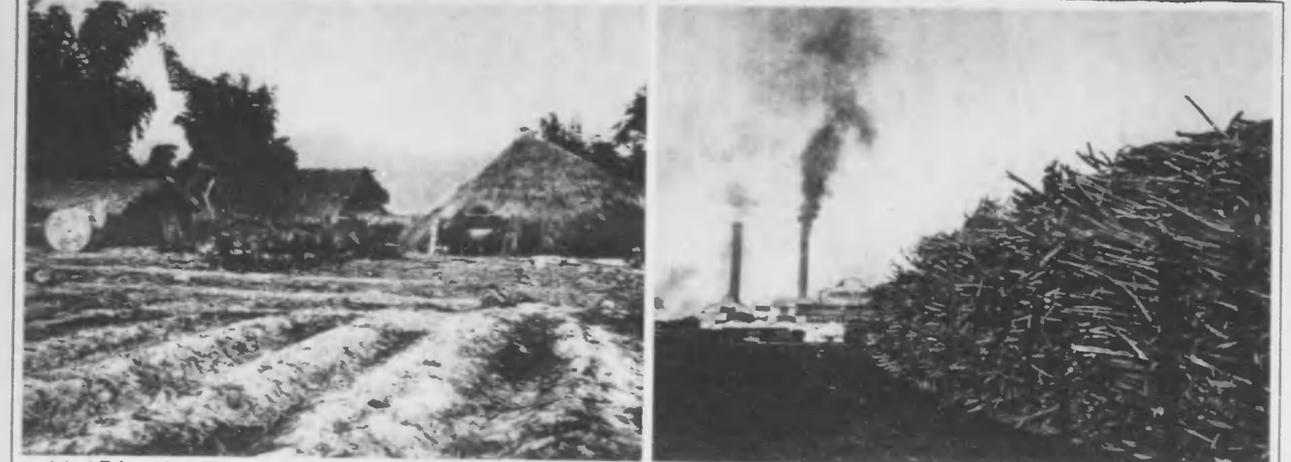
はに跡の聖城のそれか除り取めたの臺計市都たれさ手着くも間後線改がたしまわいて登り取を圓周の市北臺てし視監を周四が聖城の餘女はに時當豪領すまわてし皇を殿美の段一て光映に門城のり殘名たれさ殘つ一只在現は路道るた々垣のこ たしまわらけ設が路道線三たし橋を木橋の子橋る。こを精情國中



繁榮いなく少も人のき歩ろとそてつなと街費消の一第北臺るへ並を軒がグン イデルビな華森はで存現はり通町榮市北臺の時當たわてへ並を築建なうその墟廢たしまりなうやるへ備を貌相の市都代近全は街市全となるえ皆か舎廳府督總の獲得五式興復世近はに央中の内城市北臺他のそ すまわてし示をさ



領は府政 たしでのもな全完不ど深いならなばれけなし車下はで配勾急も設施のそ すきすに軒百間竹新隆基にか備はのもるれらげ榮てしと道儀の時當豪領うせで來將い近ものす成完が事工線復の線貫敷 たしまりかはを通開の道儀朝東と線枝分の多幾でい次 せさ通全を線貫貫づ先てて立を策政道儀後直東



たして量少てめ極も利厚生をそたま たしまわてし造製を精妙な器組てつよに法方な稚幼るすと力動委主を牛畜 と滋増養育けるまゆ放組は支輪の時當豪領たしまりなうやるれらへ敷に一の國糖蔗の取有界世羅一は濃濃にひつ けつと器組の産生量大てつもそ器工増養大め策を時學科代現年近か



かたしでうふふいとるけか出でて乗に懸けにるす出外またまた し居籠てし足離らか時幼け子女婦の時當 たしで習業なき大つ二の代時領清は足綱と片阿すまらせ感か力の性母いし選ふ負背を濃濃の日月はに鼓四たつ切び伸とチビチビ てれさ勵業が育體の子女はで校學 れさ掃一も風弊のそはで日今



制育教の島本てれさ布公が『令育教業』年一十正大 がすてりまじはの育教のけおに濃濃かのためし始開を習講の語國で街林士外市蘭臺 月六年八十二治明部學機理大南北臺と習講語國一すて現況な徒の學不に固てし備完が設施育教の種各め始を學人國南北臺はで日今 りなりのもの保同と地内てめ始は度

撮影 臺灣總督府

熱帯醫學研究所

熱帯醫學研究所

臺北市熱帶醫學研究所

熱帯醫學研究所の熱帯醫學研究は元中央研究所衛生部としてゐたが、昭和十四年四月熱帯醫學研究所として臺北帝國大學に附設開設されたもので、熱帯病學科、熱帯衛生學科、細菌血清學科、化學科、國民保健學科の各科を設け、士林、臺北、臺南に支所がある。



攝影 臺灣總督府

臺灣總督府の熱帯醫學研究所は元中央研究所衛生部としてゐたが、昭和十四年四月熱帯醫學研究所として臺北帝國大學に附設開設されたもので、熱帯病學科、熱帯衛生學科、細菌血清學科、化學科、國民保健學科の各科を設け、士林、臺北、臺南に支所がある。

向上に果してゐる役割は勿論大きいが、熱帯醫學研究所の特殊な使命はわが拓南政策の重要基地としての臺灣の使命に基づいて、醫學的に常に南方圏に對して重要打診を行つてゐることである。

南方植民あるは南方拓土といふやうな集團移民が、臺灣を基點としての南方熱帯地方において果して成功するかどうかの鍵は、要するにそれらの移民たちが熱帯地に移住して體質的に心理的に順應し得るかどうか、更にまた熱帯地特有の各種疾病に對する豫防、治療の方法が研究され完備されてゐるかにかかるといへる。

熱帯醫學研究所の研究調査も亦、これらの事に重點が置かれてゐるのも當然で南方への關心が日毎に高められてゐる現在同研究所が將來に果す使命は實に重要といへる。



今年三月には同研究所内に「熱帯衛生技術員養成所」が開校されて、熱帯地方には特に多い特殊な疾病に對する防疫隊の職士が養成されてゐる。安南語の教授(左)と實習(右)。



↑ 水牛から血清抽出液 — いろいろな傳染病の治癒(免疫)血清は牛ではつくれないといふのが定説になつてゐて、世界中どこでも馬でつくつてゐる。ところが臺灣とか臺灣以南の熱帯地には水牛は非常に多いが馬は殆んどゐない。それで水牛が役に立てば、熱帯地方でも免疫血清がつくれるので、わが拓南政策遂行上には非常に便利である。この見地から熱帯醫學研究所では種々研究中であつたが、第一次上海事變に罹つたガスマン痘菌に對する免疫血清の必要に迫られて、これに水牛を採ひ非常な成功を収めたのである。この結果、今次事變では何萬といふ暴軍將兵が恐しいガスマン痘菌から救はれてゐるが、同研究所ではこの外傷風、流行性腦脊髄膜炎、蛇毒の免疫血清をも、水牛からこしらへてゐる。水牛からの採血。

耐熱ワクチンの作成に成功 天然痘のワクチン即ち痘苗は他のワクチン類に比べて其の有効期間が短く、内地では一律に二ヶ月であるが、臺灣、南洋などの暑熱の多い地では一ヶ月が實効である。これをもつと安定かつ耐久のものにするには絶対に必要であるが、熱帯醫學研究所の研究の結果特殊な方法で乾燥することに上つて完全に凍結されたのである。これによつてできた乾燥痘苗は一般の液状痘苗の比較にあらぬほど耐熱性をもつてゐる。痘苗のほか他のワクチン類にもこの方法が適用されることになつてゐるが、實に熱帯地防疫上の福音である。



兵隊さんに書き
め書
東京市 藤井傳吉
村青年團では戦地の兵
隊さんに書きめ感謝
をとり、一人一日宛同村
の豊泉牧場に届けられ、
労働全部を慰問品に代
へてこのほど発送を完
了、今後も時々この奉
仕を行って補給の便に
の備へを前線へお傳へ
することとなつた



聖旨に奉へ奉らん
五月二十二日、「青少年学徒二編ハリタル物語」の奉還式は臺灣
各學校でも盛況に舉行され、學生一同熱火の熱意を馳せて有難き聖
旨に奉へ奉らんことを期した。式後連日府前廣場で行はれた全臺灣
高女生の分列行進



復習室
本號からあなたは何かを學んだ
てせうか？
1 中央協力會議は大政翼賛會の
地方支部長が集まつての會議
ですか？ (17頁)
2 化外の地とは 王安石の墓
のあるところ、 中國の総捨
地、 資金凍結令の適用をう
けぬ領土？ (20頁)
3 嶺山の坑夫になつて働きたい
のですが、どこへ申込みばい
いてせう？ (4頁)
4 七月から講組の常會はいつ開
くことになりましたか？
日夜八時半、 七日午後一
時、 十五日夜七時、 (20頁)
5 臺灣の總生産額は年額どれく
らひでせう？ 八千萬元？
一億五千萬元？ 五億圓？
十億圓？ 三十億圓？ (21頁)
6 毎日暗い坑道で働いてゐると
光線不足で盲目になりはしま
せんか？ (7頁)
7 南洋のパラオに念用ができた
一刺を讀んで、 さあどうしよ
う？ (16頁)
8 臺灣が日本の領土になつて今
年で何年目でせう？ 四十七
年目？ 五十年目？ 六十四
年目？ (20頁)
9 安心して使へる代用品にはマ
イカが貼つてあります。その
色は 黄色？ 赤？ 青？ (14頁)
10 五錢、十錢のオゾゴカヒラチ
ロシタイノデスガ、ドウシ
トラインデセウ？ (17頁)
一問十點としてあなたは何點
でしたか？
寫眞週報を
戦地へ送りませう
本誌を戦地に送りこむには
福合には送料は内地と同様で
持ちこたはるは開封し、第三
巻と明記すれば、郵料
郵料五圓、部 郵料

事變記念の特載 號七月二日發行
この七月七日で支那事變は九年になります。寫眞週報はこの記
念日を迎へ皆さんに生々しい現地の今の有様を傳へるため五月
十日から北支、中支、南支の三方面にそれ／＼特派員を出して困難
な現狀寫眞撮影その他にあつてもらつてをりました。特派員た
ちが實情にまみれ、交響を同して取材した貴重な寫眞や記事が最近
どし／＼編輯室に送られてきてゐます
七月二日號にはこれの特載し、寫眞の記事に一段と生々あるもの
が決定されてゐます。また表紙は藤田剛治畫伯の筆になる原色版の
雄渾美麗な龍巖基地です。發行の日を御待ち下さい
— 定價平常通り十錢 —

寫眞週報 (兼郵報)

昭和六年六月二十五日印刷發行

東京市神田區
内閣印刷局
東京市神田區大塚町

一部 十 錢

▲郵約配送郵便物の方は一
部十錢(外國郵便に依る
地域は十九錢)の割合を
以て前金を添へ御申込み
下さい
▲特大號の場合は其の都度
御申込金より差額を申受
けます

内閣印刷局發行課
電話九ノ内(2)三五一一九
東京市神田區大塚町
電話東京一九〇〇〇

全國各地官報販賣所
各書店・書賣店
各新聞販賣店
寫眞材料店

昭和六年六月二十五日印刷發行

東京市神田區
内閣印刷局
東京市神田區大塚町

かつての大時戦線の勇士
はいま銃後にあつて砲臺
を堅固に代へてぐつきと
掘り、金庫増産の第一線に
起つた
頼んだぞ、坑道の戦士！
モリ／＼と掘つてくれ、君
等の兩腕にいま日本は期待
してゐるのだ、日立鑛山
總務 大日本産業報局

保險報國
躍進日産

日産生命保險株式會社

社長 伊吹 震
相談役 鮎川 義介

本社・東京・日比谷



栄養補給に

強力ビタミンB剤

オリザニン

ビタミンB欠乏は結核菌に対する抵抗力を減退せしめ、脚氣の併発となり、食慾不振、栄養障害に陥入り、結核菌の増殖が著明となり、潜伏結核の活動が始まることは臨床醫家の実証するところである。

オリザニンは本邦嚙矢のビタミンB剤にして、米糠より抽出したるものにて合成品と異りその製出に際しては毎回生物學的試験によりその力價を準定す

(末、錠、液、エキス、注射液)

結核時

食慾不振に

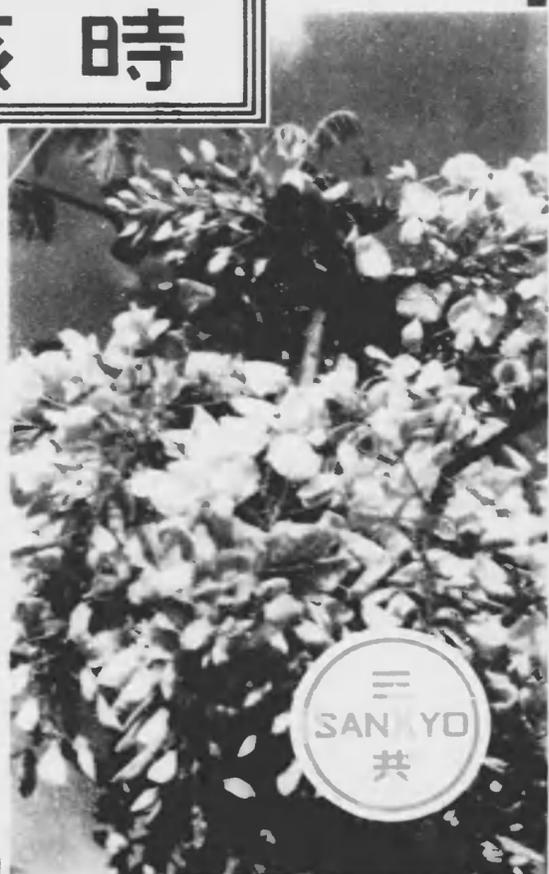
タカチアスターゼ

—澱粉以外にも完全消化—

タカチアスターゼは一般局方ヂアスターゼとその組成を異にし、澱粉糖化力の著しく強大なることは勿論、麦芽、蛋白質、ペプトン、脂肪、纖維素、その他塩類分解酵素等數種を含有し、結核の如き熱性疾患時の食慾不振、消化不良、胃部膨滿その他胃腸機能低下に適應す。

(包装) (錠) 30錠 100錠
(末) 14瓦 28瓦

東京・日本橋・室町 三共株式会社



(列傳製薬) A4規格定価はきき大の書本